

島中だより

教育目標
 学ぶ意欲にとみ
 心豊かで たくましい生徒

八戸市立島守中学校
 TEL 83-2011
 文責 校長 竹花 和人

夢や志を実現するには

校長 竹花 和人

※1月14日（木）3学期始業式での講話より

明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひします。

2学期終業式では「読書をしてほしい」「新年を迎えたらぜひ新年に向けての目標をもち、目標に向かって努力する意欲をもって生活してほしい。」と話しましたが、冬休み中に読書しましたか？また、新年を迎えて目標をもつことができましたか？先ほどの代表の決意表明は、とても素晴らしいものでした。きっと生徒全員がこのような決意をし、夢や目標、志をもって頑張ろうとしていると信じたいです。

私自身のことを話します。まず、読書ですが、昨年ドラマで話題になった「下町ロケット」を読みました。そして今年度の目標としては、様々な儀式や全校朝会での話を、できるだけ5分程度にすることを目標にしました。今までは10分かそれ以上話していたと思いますので、半分にしたと思っています。さっそく今日の話から、できるだけ短くします。

今日は吉田松陰の「我は我が志を行わんのみ」という言葉を紹介します。これは「私は、自分で決めた志を遂げるだけ、わが志を進めだけである」という強い決意を述べたものだそうです。志を実現するためには、このような強い決意が必要だということです。

特に3年生は、自分の希望する進路を実現したいと誰もが考えていると思いますが、具体的に何をすればよいかかわっていますか？また「志を行わんのみ」と強い決意をして努力していますか？「具体的な取組」を明らかにすることと、「そのための努力をする」と強く決意しないと「夢や志」をかなえることはできないと、吉田松陰は述べています。

3年生は、とりあえずこれからの3か月間頑張ることが明確だからいいのですが、1・2年生はどうですか？自分の「夢や志」をかなえるためにも「夢や志」の実現のために「具体的な取組」をどうするかということ、強い決意をもって努力して取り組むことを心がけてほしいと思います。

私が読んだ「下町ロケット」という小説でも、主人公はロケットを飛ばしたいという「夢や志」を決してあきらめず、乗り越えるのが無理だと思われる壁にぶつかっても何度も挑戦し克服していきます。まさに「我は我が志を行わんのみ」という心境で挑戦し続けるのです。ぜひ、皆さんも吉田松陰や「下町ロケット」の主人公のように、何度壁にぶつかっても乗り越えようとする強い意志をもって、自分の「夢や志」を実現できるような1年としてほしいものです。

我は我が志を行わんのみ

保護者や地域の皆様、去年は本校の教育活動に御支援・御協力いただきまして、ありがとうございました。心より御礼申し上げます。

本年も、子供たちに「知徳体」をバランスよく育むために、教職員一同精一杯取り組んでまいります。皆様には、これまで同様に御支援・御協力くださいますようお願いいたします。

小・中学生一緒にの学習会

冬休み中の1月7日(木)と8日(金)の2日間、本校の1・2年生が島守小学校の5・6年生に対して冬休みの宿題の分からないところを教えたり、苦手としている教科や問題を一緒に考えたりする学習会を行いました。これは、島守中学校区の小中連携の取組として、今年度初めて実施したものです。

小学生にとっては、中学生に教わったり一緒に考えてもらったりすることで、普段とは異なる新鮮な気持ちで勉強ができていたようです。「あっそうか!」「わかったぞ!」などという小学生の反応があると、指導している中学生もとてもうれしそうでした。また、「字は読めるように書かないと中学校で注意されるよ」などと、日頃は自分自身が注意されていることを小学生に指導している姿を見て、中学生が成長している姿を改めて感じることができました。

今回の学習会のような取組を、来年度もぜひ継続して実施したいと思えますし、これ以外にも小中一緒にできることはないかを考え、工夫した教育活動を進めていきたいと思えます。



教育の広場 はちのへ

12月26日(土)と27日(日)の2日間、八戸ポータルミュージアムはっちを会場に八戸市教育委員会主催の「第2回教育の広場 はちのへ」が開催されました。このイベントでは、八戸市内の各小・中学校が作成した学校を紹介する掲示物やグッジョブウィークを紹介する掲示物が展示され、本校ではグッジョブウィークを紹介する掲示物を展示しました。また、今年度末で閉校となる市野沢小・中野小・鳩田小は「南郷プロジェクト」としてステージや展示で特別な発表があり、イベントを盛り上げていました。

年末の忙しい時期ではありましたが、ステージ発表や展示発表を見に来てくださる市民の皆さんで「はっち」は賑わっていました。

入賞の記録

1月11日(月)に第43回南部地方室内陸上競技選手権大会が行われました。本校陸上競技部も出場し、中学校女子走り高跳びで1年の畑 穂乃佳さんが第6位入賞しました。

「できた」と考えると思考力が落ちる

12月10日に発行した島中だより NO.15 で林成之氏の「脳に悪い7つの習慣」について、一部分を紹介しましたが、今回も同じ本の中から、「『できた』と考えると思考力が落ちる」ということについて紹介します。

仕事や勉強をしていて、まだ完全に終わっていないのに、「だいたいできた」と考えることはありませんか？これは、脳に「とまれ!」と言っているようなもの。仕事が「あと少しで完成するな」と思ってほっとすると、途端に能率が下がる。会議が終わるころになるとメンバーの集中力が途切れてくる・・・

「だいたいできた」ということは「まだできていない」はずですが、脳は「だいたいできた」という“否定語”によって思考することをやめてしまいます。自己報酬神経群の働きをうまく活用するには、物事をもう少しで達成できるという時こそ、「ここから本番だ」と考えることが大切です。(p40より抜粋)

全国高校サッカー大会での青森山田高校の試合のように、最後まであきらめない心は、毎日の授業や部活動で意識して取り組むことで養っていききたいものです。